

広報

みしま

2021

4

April
No. 338

町の絶景、
世界へ発信

東京オリンピック 聖火リレー

第一只見川橋梁展望台で聖火ランナーを務めた五十嵐望さん

(写真・星賢孝さん撮影)





奥会津4町村の中学・高校生がサポートランナーを務めた



第1走者・斎藤幸弘さん(写真左)から第2走者・花房孝夫さん(西郷村・写真右)へのトーチキス



沿道からエールを送った三島保育所の児童



矢澤町長と三島町のサポートランナーの皆さん(写真左2人目から) 秦慎之助さん(宮下)、鈴木啓生さん(宮下)、菅家大貴さん(川井)、飯塚真林さん(西方)、二瓶教香さん(西方)



聖火リレーの通過を記念して宮下地区で打ち上げられた花火



聖火のゴールを祝った金山町の和太鼓サークル「ぼんぼこ」



役場前で行われたミニセレブレーションでは第3走者の猪俣昭夫さん(写真右)から第4走者の松本和樹さん(福島市)に聖火が受け継がれ、町村長やサポートランナー、各町村のゆるキャラが集まりフォトセッションが行われた



第5走者・舟木哲也さん(昭和村)



第3走者・猪俣昭夫さん(金山町)



第1走者・斎藤幸弘さん(柳津町)

希望の灯をつなごう 東京オリンピック 三島町を通過

新型コロナウイルスの影響により1年間延期された、東京オリンピック聖火リレーは3月25日、Jヴィレッジ(栃葉・広野町)をスタートし、27日までの3日間、県内26市町村を巡り実施され、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興状況や福島県の魅力を国内外に発信しました。

聖火リレー2日目となった3月26日、三島町では6人の聖火ランナーがそれぞれの想いを胸に走り抜きました。第一只見川橋梁展望台を担当した五十嵐望さん(大谷・三島中3年)は、JR只見線の通過時刻に合わせて聖火を手手に展望台を登り、頂上に到着すると車両が第一橋梁を通過、聖火ランナーと絶景が一つになる貴重な光景になりました。五十嵐さんは「三島町の魅力を世界に発信する良い機会に

なり、思い出に残る一日になりました」と話しました。
三島中学校前から町観光協会駐車場までのルートでは、斎藤幸弘さん(柳津町)、花房孝夫さん(西郷村)、猪俣昭夫さん(金山町)、松本和樹さん(福島市)、舟木哲也さん(昭和村)の5名が聖火をつなぎました。スタート地点では三島小の鼓笛隊が、ゴール地点では金山町の「和太鼓サークルぼんぼこ」の皆さんによる演奏が行われ聖火リレーを盛り上げました。
また、ミニセレブレーション会場となった役場前では、第三走者の猪俣さんから第四走者の松本さんに聖火が受け継がれ、松本さんの後ろを、三島町、柳津町、金山町、昭和村の中学生、高校生17人がサポートランナーとして走り、リレーに花を添えました。
奥会津地域の希望の灯として6人のランナーで受け継がれ三島町を通過した聖火は、121日間をかけて全国を巡り、東京オリンピック開会式の7月23日、国立競技場の聖火台にもとされます。

保育所生活を終え 1年生に 三島保育所満了式 4人が小学校へ



三島保育所の満了式は3月27日に行われ、年長児4人が楽しかった保育所生活を終わりました。大竹真理子所長から満了証書を受け取ると、後ろで待つお母さん、お父さんに「ありがとう」と言って満了証書を手渡しました。大竹所長は「4月からは新しい勉強や運動が小学校で待っています、保育所で頑張ったように、小学校でもさらに力を伸ばしてください」と話しました。児童たちは「思い出のアルバム」などを歌い思い出のたくさん詰まった保育所とお別れしました。

①大きく成長し、保育所を満了した4人の児童たち【左から】海老名完吾（桧原）、鈴木玲汰（滝谷）、石岡柚樹（大登）、岩淵啓太（大登）②お母さんに満了証書を手渡しました③みんなで歌を歌って楽しかった保育所に別れを告げました

家族、地域への感謝を胸に 三島中卒業式 5人が巣立つ



三島中卒業式は3月12日に行われ、5人の卒業生が3年間を過ごした思い出の学び舎を巣立ちました。式では、関根宏房校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡した後、「自分の信じた道でたくさん学び、自分を磨き、光り続けてください」と式辞を述べました。在校生による送辞の後、答辞を務めた二瓶教香さんは、3年間の思い出を振り返った後、先生や在校生、家族に感謝の言葉を伝えました。最後に「蛍の光」「春風の中で」卒業賛歌「旅立ちの日に」を歌い、新たなスタートを祝いました。

①希望をふくらませ、三島中を卒業した5人【左から】星明音里（西方）、二瓶教香（西方）、飯塚真林（西方）、菅家大貴（川井）、五十嵐望（大谷）②関根宏房校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡しました③在校生との別れを惜しむ卒業生

第4期生が全課程を修了 三島町生活工芸アカデミー修了式

生活工芸アカデミー修了式は3月19日、工人の館において行われました。式では、第4期生の永澤光枝さんが矢澤町長から修了証書を受け、「三島町の豊かな自然と町民の皆様の温かい人柄に触れながら、充実した1年を過ごすことができました」とあいさつを述べました。矢澤町長は「今年の豪雪の中、三島町での暮らしには苦勞されたと思いますが、地域の方々と交流しながら、1年間無事に修了されたことを嬉しく思います」と話しました。永澤さんは、これからも町に住み、ものづくりなどの活動を継続していく予定です。

①修了証書を手にする永澤光枝さん
②山ブドウバッグの材料切りを習う様子
③永澤さんが製作した卒業作品の山ブドウの手提げ



大きく成長した6年間 三島小卒業式 3人が中学校へ

三島小卒業式は3月23日に行われ、3人の卒業生が新たな一歩を踏み出しました。式では、卒業生一人一人が藤田雅也校長から卒業証書を受け取った後、それぞれが卒業証書を手し、中学校での目標を力強く発表しました。藤田校長は「努力の大切さと感謝の心をいつまでも忘れないでください」と式辞を述べました。最後に「語り合おう」「この星に生まれて」「さようなら」を歌い在校生に別れを告げました。

また1年生から5年生までの在校生30人がそれぞれ進級しました。

①中学校の制服を着て式に臨んだ3人【左から】小柴美優（名入）、鈴木璃音（宮下）、森玲奈（宮下）②お父さんとお母さんに感謝を述べ、花束を手渡しました③卒業証書を手し、中学校での目標を発表する卒業生



第40回 三島町生活工芸品展

～44名の町民の方々より
180作品を出品いただきました～

大賞に 舟木トメ子さん(間方)



大賞を受賞した
ヒロロショルダーバッグ

—第40回三島町生活工芸品展受賞作品名簿—

賞	作品名	材質	作者	地区
大賞	ショルダーバッグ	ヒロロ	舟木トメ子	間方
伝統技術者賞	米とぎ笊	マタタビ	長谷川一雄	桑原
優秀賞	手提げバッグ	山ブドウ	二瓶譲	大谷
奨励賞	手提げバッグ	マタタビ	三井康二	荒屋敷
三島町生活工芸運動 友の会会長賞	お財布ショルダー	ヒロロ	若林範子	宮下
	手提げ籠	山ブドウ	矢澤民子	高清水
宮崎清賞	手提げ籠	山ブドウ	栗城直美	中平
	手提げバッグ	ヒロロ	渡部マサ	西方
	手提げ籠	クルミ	坂井智子	宮下
	平ザル	マタタビ	長谷川一雄	桑原
	ショルダーバッグ	ヒロロ	菅家ハルイ	間方
	手提げバッグ	ヒロロ	秦愛子	大石田
	ペンケース	ヒロロ	角田ツヤ子	浅岐
	長財布	山ブドウ	五十嵐陽二	名入
	手提げバッグ	山ブドウ	福田耕士	大谷
	手提げバッグ	山ブドウ	五十嵐喜良	名入
	机	朴の木	二瓶佳悟	西方
	古布カバー	古木綿	渡部和	大石田
大雨ミノ	ヒロロ	青木基重	西方	

昨年の第39回は、同時開催の全国編み組工芸品展とともに新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、あいにく中止となりましたが、今回も全国編み組工芸品展が中止となる中、第40回三島町生活工芸品展は規模を縮小し、作品を募集し審査を行いました。

44名の方より180点の編み組細工や木工品などが出品された中、厳正なる審査の結果、大賞には舟木トメ子さん(間方)の「ヒロロショルダーバッグ(写真参照)」が選ばれ、伝統技術者賞をはじめ優秀賞や奨励賞などの各賞には左表のとおり作品が受賞されました。

表彰式や例年通りの展示即売会を実施いたしません、町民限定の展示会を実施いたしますので、ぜひ素晴らしい作品の数々をご覧に足をお運びください。

町民限定 展示会 開催

○期間 **4月2日(金)～4月11日(日)** ○会場 **生活工芸館 2階 大工芸室**

第40回三島町生活工芸品展に出品されました180点の作品を展示いたします。ぜひご来場ください。



上手に食べれるかな?パン食い競争

思いっきり、雪遊び!

町営スキー場ですってんころりんピック

すってんころりんピックは3月7日、町営スキー場で行われ、町内の子どもたちや親子連れ約40人が参加しました。パン食い競争や雪上綱引きなどの4つの競技が行われ、メインイベントにはゲレンデの上から転がされた伊予柑を拾い、書いてある番号によって豪華景品が当たる「伊予柑まき」が行われました。両手いっぱい景品をもらった子どもたちからは笑顔が溢れていました。

火災のない安全な街に 三島小 少年消防クラブ満了式

少年消防クラブ満了式は3月8日、三島小学校で行われました。少年消防クラブは、少年期に防火意識を身に付けることを目的に、火の用心の呼びかけや避難訓練等を実施しています。満了式では、退団する6年生の児童3名に三島出張所の木村所長から満了書が手渡されました。これからは消防クラブで学んだことを忘れず、防火・防災のために役立ててくれることを願います。



これからも火の用心を心がけます



贈呈された福祉車両

24時間テレビから福祉車両が贈呈 デイサービス西輝に納車

24時間テレビチャリティー委員会より、西方地区のデイサービス西輝に福祉車両が贈呈されました。「24時間テレビ」でのチャリティー募金を活用し、全国の福祉施設や団体に福祉車両を贈呈する事業の一環として贈呈いただきました。車両はスロープ付きで、車いすに乗ったまま乗り降りすることができます。今後、利用者の皆さんの送迎等に活躍してくれることと思います。

楽しく歩いて健康づくり! 町民健康づくりキャンペーン結果発表

楽しみながら健康づくりに取り組むことを目的に12月1日から2月28日までの3ヶ月間実施された町民健康づくりキャンペーンは、目標が設定された3つのコースを、(株)タニタヘルスリンクの活動量計やスマートフォン用の歩数計アプリで計測した距離に応じ、目標達成者には景品が進呈されました。第1位は160万歩(約1,100km)を歩いた徐銓軼さん(宮下)に代表で表彰状と景品が贈られました。



矢澤町長から表彰を受ける徐銓軼さん

令和2年度 三島町地域おこし協力隊活動報告

三島町地域おこし協力隊の令和2年度の活動報告を掲載いたします。
※次号は、植村明恵さんと深澤諒さんです。



みさわ りゅうた
三澤 龍太
情報発信担当
特命担当課所属

三島町で暮らし始めて一年が経ち、最近では自宅で覚えたての編み組細工に挑戦し始めました。環境にもだいぶ慣れ、三島町での生活を楽しんでいきます。

協力隊としては、次の業務を行いました。一つ目は「三島町ホームページの更新」で、コロナ関連のバナーの作成や新着情報の更新、みしま通信の記事作成、過去の記事の変更や削除などを行いました。町ホームページの更新には、専用のシステムを使用しているため、専門的な知識が必要であり、慣れるまで苦戦しました。単純な記事の作成でもシステムが複雑なため、閲覧する側のことを考えながら作成するためには課題がたくさんあります。町ホームページは表示速度が遅く、各コンテンツの配置や構成において今後より使いやすく見やすい、閲覧する側が知りたい情報に素早くアクセスできるように改善していく余地があります。また、町ホームページには解析システムを利用してアクセス数を把握することができますが、それほど伸びていま



うめづ きよか
梅津 汐夏
観光協会業務
観光協会配属

私は三島町観光協会で勤務しており、接客や案内のほか、担当している仕事有四つあります。昨年から続いている新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止、県外への移動自粛、不要不急の移動自粛など、様々なことが起こり、それらの仕事も思うようにできないこともありましたが、コロナ禍でもできることを考え、次のことを実施しました。

一つ目が「町外での三島町の観光PRや特産品販売」です。昨年までは主に首都圏で実施していましたが、今年度は福島県内に絞り、催事を依頼して行いました。その中でも、桐製品の小物は手に取っていただくことが多く、桐の軽さや質感などの良さを実感して購入して下さる方が多くいました。桐は魅力を多く秘めている素材なので、人の目にとまる方法を考えることで、もっと注目される可能性を感じました。二つ目は「協力隊SNSを活用した三島町情報発信」です。コロナ対策による新しい試みや、町外でのイベントに参加していることの宣

せん。二つ目は「広報誌やお知らせ版の記事作成」で、広報誌では協力隊の活動を取材し、毎月記事を作成したり、お知らせ版では記事編集を全面的に行い、印刷、仕分けまで出来るようになりました。写真や動画を撮ることが増え、実際撮り終えた写真や動画を見返すとたくさん撮った写真のうち使用できるものはほんの数枚しかないこともあり、記事の構成を考え、意識した撮影スキルを身につける必要があると感じました。また、広報誌などはどれだけの人に情報が発信できているのか数字として現れにくいと感じました。三つ目は「協力隊のフェイスブック更新」で、頻繁ではありませんが、町での出来事を取材したときなどその内容について掲載するようにしています。いいね！の反応が多いときは嬉しいですが、四つ目が「SNSやYouTubeなどの開設に向けた活動」です。昨年の十一月にこれらの研修を受けてきましたが、開設には課題も多くすぐに開設することは難しいと感じました。

一年間協力隊として活動してきましたが、もともと三島町の編み組細工に興味があり、任期中も編み組細工に取り組んでいたこともあったことから、協力隊を退職して本腰を入れて取り組んでいきたいと考え、突然ではありますが、三月十五日を持って協力隊を退任いたしました。

伝、主要観光ポイントの季節の状況を伝えました。昨年に比べ発信数は四分の一以下ですが、フェイスブックやインスタグラム共にフォロワーが増加し、三島町への関心や応援してくださる方が増えた結果だと思えます。三つ目は「訪日観光客への対策とデータ集計」ですが、コロナ禍により海外からの観光客は制限されており、昨年度と比べて九割以上減少しましたが、三島町に行きたい友人の代理で訪れた方や、今後紹介する時に使う写真を撮りに来た観光業の方も訪れていたため、海外往來の制限解除後も訪日観光客は増えると思われる。四つ目は「観光関連チラシのデザイン作成」です。町外イベントの広告チラシ、サイクリングコースの企画実施に向けてのチラシ、三島町特産品販売のチラシを作成しました。

観光面で町外の人を三島町に繋げられることを何かしたい反面、コロナの影響により情報発信ひとつとっても非常に取組みにくい一年でした。現代にあった観光の在り方や、以前のような生活に戻るまでを乗り切る方法を考えなければならぬと思うのですが、残念ながら、私の任期はこの四月末で満了となり、その仕組みづくりに携わることができません。経験も行動力もある素晴らしい方々が三島町に残っているので、今後も変わ

た。協力隊としては、一区切りとなりましたが、今後も引き続き三島町に定住し、編み組細工に力を入れながら三島町に貢献できる形作りを進めていきたいと考えていますので、今後とも何卒よろしくお願いたします。

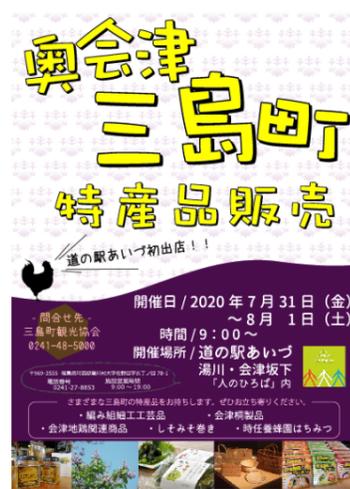


各種 SNS 情報発信



三島小学校の取材の様子

りなく三島町を守ることができると思えます。観光を起点として様々な方にお世話になり、三島町に関わることができて良かったと感じています。三年間ありがとうございました。



作成したチラシ



【道の駅あいづ湯川・会津坂下】での物販の様子

町の予算

町の一般会計と7つの特別会計の予算が、3月議会定例会において議決されました。令和3年度は第五次三島町振興計画の初年度となり、昨年度までの事業評価を踏まえ、前期計画のテーマに掲げる「環境と調和し、人と人とのつながりで安心して暮らせるまち」を念頭に、各種事業を推進します。



Pickup1 教育
複式学級においても複式学級と変わらない学力の維持・向上のため複式補充教員を2名配置します。また、総合学習の時間を活用し、地域の歴史や文化を学び、郷土愛を育むと共に、町の将来を見据えた考え方を育むキャリア教育の充実を図ります。



Pickup2 子育て
保育所では、各年齢の配置基準に応じた保育士や保育補助者を配置し、低年齢児や年度途中での入所についても臨機応変に対応し、きめ細やかな支援ができる体制を維持します。また、全年齢児(0～5歳児)の保育料無償化を今後も継続します。



Pickup3 住宅
若者単身用や世帯用、子育て用など、住宅の用途を明確にし、多様化する住民のニーズに対応するため住環境の整備を拡充し、人口流出の抑制、町内の移住者の定住の安定化など、町内における住居の選択肢の充実を図ります。



Pickup4 定移住住
空き家バンクによる物件の掘り起こし、空き家・住宅改修費補助金による支援、町が事業主体となり空き家を一括借り上げ希望者に貸し出す「町版サブリース」の創設等により、移住定住希望者の需要に応じた住居環境を整備します。



Pickup5 健康
「目指せ!健康寿命+10(プラステン)」等の健康増進事業の継続実施と生活習慣病の重症化予防に努め、健康は「自分で守りつくる」という意識づくりと食生活や運動等の望ましい生活習慣の確立を目指します。



Pickup6 防災
消防団員の確保に努めると共に、特に消防団員の不足する地区において、機能別団員・一般の住民からの協力者を募り、消防力の不足を補う組織づくりを進めます。また、防災訓練の定期的な実施による地域の防災力の向上を図ります。



Pickup7 再生可能エネルギー
町の貴重な財産となる森林の活用・継承とエネルギーの地産地消による循環型の社会を形成し、持続可能で自立した暮らしを実現できる町を目指します。エネルギーとなる木質バイオマスを供給し、脱炭素化に貢献する森林整備が進む環境づくりを推進します。

地域政策課
地域政策係 ☎(48) 5533
産業建設課 産業係 ☎(48) 5566

総務課 総務係
☎(48) 5511

町民課 保健福祉係
☎(48) 5565

地域政策課 地方創生推進係
☎(48) 5533

産業建設課 建設係
☎(48) 5566

生涯学習課
☎(48) 5599

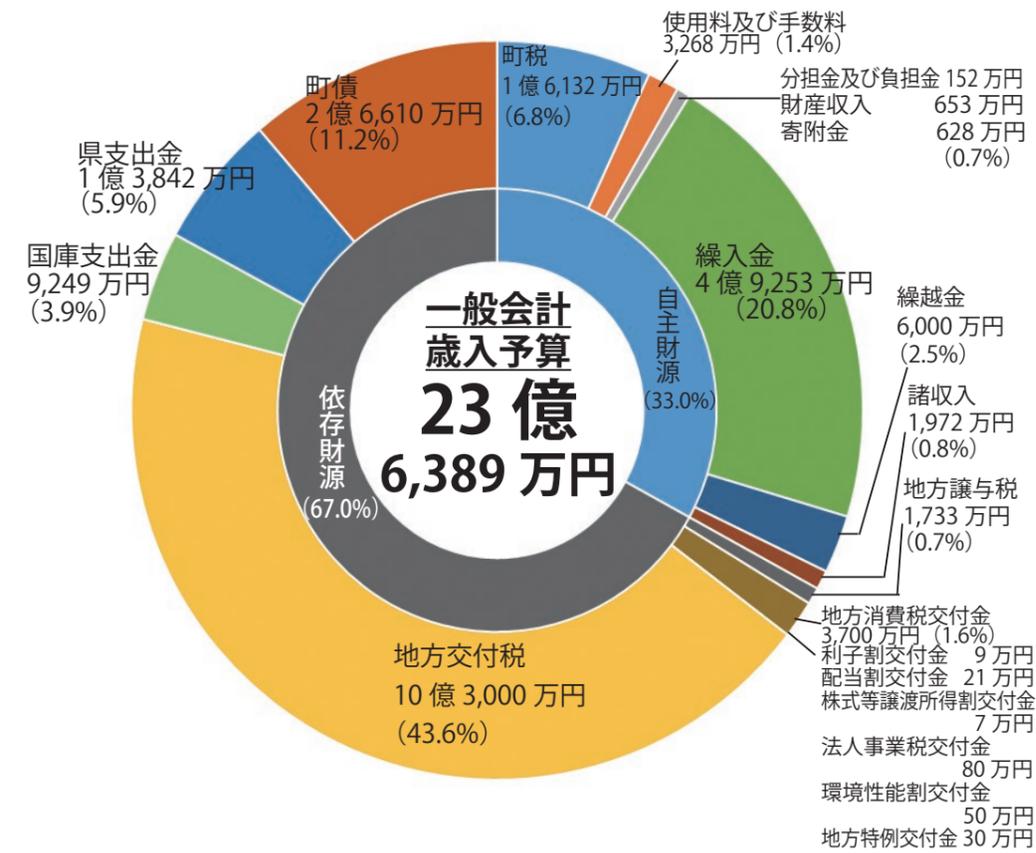
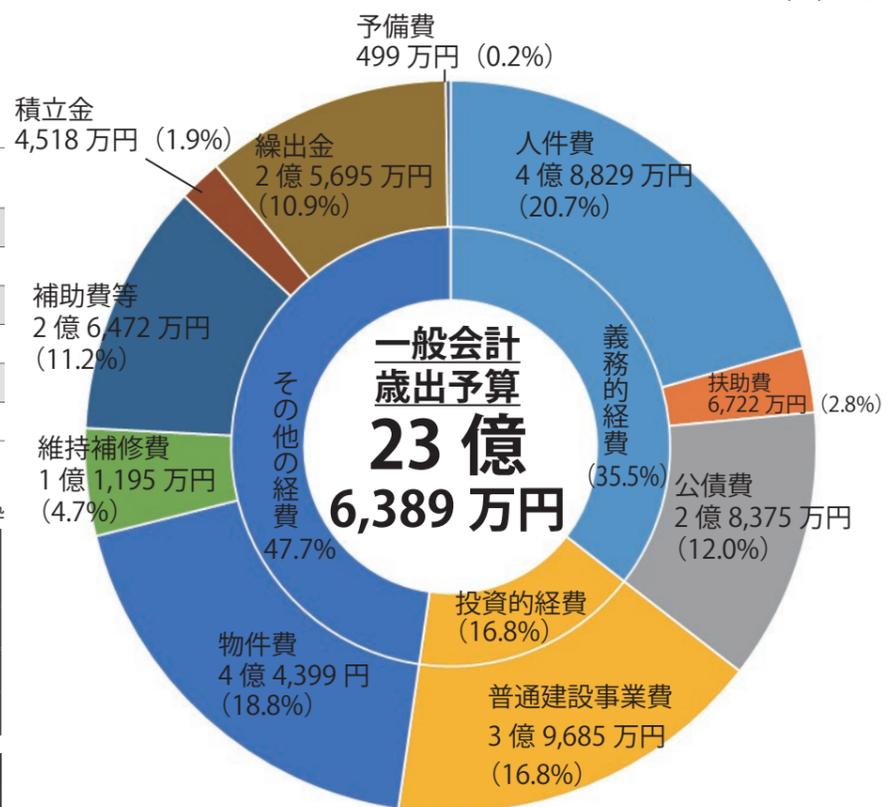
生涯学習課
☎(48) 5599

- 主な投資的事業**
- 旧大石田分校・旧大石田生活改善センター解体
 - 生活工芸館外壁改修
 - 道の駅駐車場拡張
 - 道の駅空調設備更新
 - 早戸交流拠点施設屋根外壁塗装
 - 中平団地住戸改修(3戸)
 - 教員宿舍改修(5戸)

令和2年度からの繰越事業
新型コロナウイルス対策事業 ※抜粋

事業名	予算額
PCR検査助成事業	1,000万円
桐の里商品券発券事業	810万円
高齢者支援商品券発行事業	250万円
事業者支援給付金	200万円

事業名	予算額
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	1,867万円



用語の説明

- **一般会計と特別会計**
町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。
- **町税**
町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。
- **町債**
町の借金で、公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。
- **地方交付税**
町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。
- **国庫支出金・県支出金**
町が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金です。
- **人件費**
報酬や給与などです。
- **物件費**
賃金、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的な経費です。
- **維持補修費**
道路や公共施設などを管理するための経費です。
- **扶助費**
高齢者、児童、心身障がい者などに支援する経費です。
- **補助費等**
町から他の団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。
- **普通建設事業費**
道路や住宅、公共施設などの整備のための経費です。
- **公債費**
町の借金を償還する(返す)ための経費です。
- **積立金**
財政運営のために積み立てるお金です。
- **繰出金**
一般会計から特別会計に出しているお金です。

令和3年度 会計別予算額

会計種別	予算額	前年度からの増減
一般会計	23億6,389万円	-1億6,310万円
特別会計		
国民健康保険	1億9,232万円	-327万円
簡易水道	1億1,711万円	-7,566万円
路線バス	3,142万円	+126万円
農業集落排水	2,180万円	-508万円
介護保険	4億6,578万円	+205万円
戸別合併処理浄化槽	4,283万円	-633万円
後期高齢者医療	3,274万円	-168万円
合計	32億6,789万円	-2億5,182万円

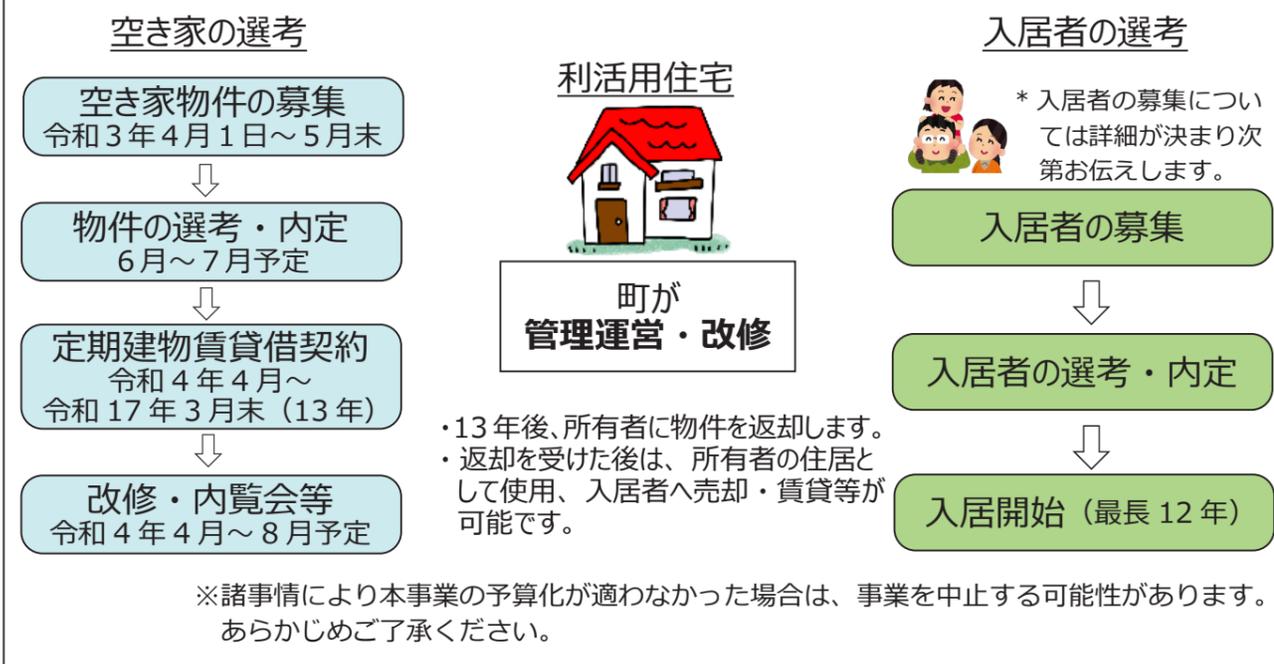
その3 三島町空き家利活用モデル事業

増加傾向にある空き家の利活用並びに慢性的な住宅不足を解消し、移住・定住の促進を目的とした「三島町空き家利活用モデル事業」を実施します。

事業では、町内の空き家を町が13年間借り上げ、国・町の予算で空き家の改修工事を行い、町が管理するとともに、移住・定住希望者等への貸し出しを行います。

令和4年度に改修・貸し出しする空き家を募集します！！

■事業全体のイメージ図



■対象となる建物

- ・法務局において、不動産登記されている建物
 - ・建物が存する土地が借地でないもの
 - ・当該建物及び周囲との関係について、係争事や問題のないもの
 - ・三島町防災マップによる土石流・急傾斜・特別警戒区域外であること
 - ・屋根、外壁、基礎に著しい損傷のないもの
 - ・令和4年3月までに仏壇や神棚を含めて、家財の処分ができること
- *詳しくは、下記 **役場地域政策課** までお問い合わせください。

■物件の申込み受付期間

令和3年4月1日（木）～5月31日（月）

- * 申込み受付期間内に応募のない場合は、先着順による随時募集を行います。
- * 申込みいただいた物件が必ずしも事業対象となるものではありませんので、ご了承ください。

■申込書の提出先

三島町役場 地域政策課 地方創生推進係 0241-48-5533

- * 申込書類を送付もしくは役場窓口にてお渡しいたします。
- * お申し込みの際は、以下の書類の提出が必要です。
 - ①「当該建物及び宅地に係る不動産全部事項証明書」
 - ②「固定資産公課証明書」



空き家・空き地の利活用による 活気あるまちづくり

年々増え続ける空き家に対して、町では空き家等対策計画に基づき、様々な空き家対策に取り組んでいます。空き家対策は、一朝一夕には進まないのが現実ですが、利活用可能な物件を移住・定住希望者に紹介することや、店舗等での活用を通して、活気あるまちづくりを推進しています。また、利活用が難しい物件に関しては、補助制度を利用した解体を促しています。今号では、町の取り組みについてお伝えいたします。

その1 三島町空き家・空き地バンク

空き家・空き地バンクとは、空き家所有者から情報提供を受けた物件を町のホームページに掲載し、町内外の空き家・空き地利用希望者や移住希望者に紹介する制度です。空き家・空き地を借りたい方、買いたい方を見つけるお手伝いをします。

4月より、**町内に居住等を目的として建物を建築することができ、現に使用されていない宅地（土地の不動産登記における標題部地目が宅地に限る。）**も含むこととなり、解体後の更地を登録できるようになりました。

登録には書類提出や現地調査が必要となりますので、まずは、お気軽にお問い合わせください。



三島町空き家バンクサイト

その2 三島町空き家・住宅取得改修費等補助金

移住・定住の促進、集落の維持・活性化、景観保全等を目的とした補助制度があります。



人が住まなくなった家は急速に傷みが進みます。特に今冬は積雪が多く、空き家や小屋の屋根等の被害や倒壊の恐れ等のご相談を近隣の方からお受けすることがありました。放置された空き家は、安全面や衛生面で周囲に迷惑をかけてしまったり、活用しようとしたときに多額の修繕費用がかかることもあります。空き家の管理不全が原因となり、住民等がケガをした場合、空き家所有者は民法717条による**損害賠償責任を負う**可能性があります。空き家は個人の財産ですので、所有者等が適切に管理をしてください。

空き家の適切な管理は所有者の責務です！！

健康で元気な毎日に vol.54 今すぐできる！花粉症対策

町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

○メガネやマスクの着用

体内への花粉の侵入について、花粉症用マスクは約1/6、花粉症用メガネは1/4程度に減らせることが分かっています。

○花粉が付きにくい素材

コートなどを選ぶときは、綿やポリエステルなどツルツルしている素材がおススメです。

○柔軟剤で付着予防

花粉は静電気によって引き寄せられるため、選択するときには柔軟剤を使用して静電気を防止しましょう。

○トイレマットにご注意

衣類を上げ下げするたびに花粉が落ちるため、トイレマットには花粉がたまりやすいので、こまめに洗濯しましょう。

○部屋の換気は窓を小さく開ける

窓を10cm開けるだけでも十分に室内の空気を入れ替えることができます。また、網戸とレースのカーテンで花粉の侵入を50%カットできると言われています。

○のど、鼻の保湿

のどや鼻の粘膜が乾燥すると炎症が起こりやすくなります。水分補給、濡れマスクやのど飴を利用して乾燥を防ぎましょう。

花粉症を軽減するといわれる栄養素

乳酸菌類（発酵食品）

免疫細胞を活性化させ、免疫を強める働きがあります。



青魚の脂（DHA・EPA）

アレルギー症状を強める脂肪酸の効果を打ち消す働きが期待されます。



βカロテン、ビタミンC、ビタミンE

アレルギー症状を強める活性酸素に対抗する抗酸化ビタミンです。



※花粉症を悪化させないために

花粉症の症状があるときにお酒を飲みすぎると、血管が広がり鼻詰まりや目の充血などの症状が起こりやすくなります。

また、タバコや香辛料なども鼻の粘膜を刺激して花粉症の症状を悪化させますので、できるだけ控えましょう。

町民センター図書コーナー

「ゆめぼけっと」から図書のご案内

図書コーナー『ゆめぼけっと』利用時間
月～金 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。☎公民館 ☎(48)5599



脳寿命を延ばす

認知症にならない18の方法
新井 平伊：著

著者の新井氏は順天堂大学名誉教授で、同大医学部でアルツハイマーの治療に専心してきた、脳の専門医です。「脳の健康寿命」をいかにして延ばすかを「18の心得」としてまとめました。人生が100年までの射程に入ってきた今、これは必読の書です。

☆新着本

自分を傷つけてしまう人のための レスキューガイド

松本 俊彦：著

1日1話、読めば心が熱くなる 365人の仕事の教科書

藤尾 秀昭：著

おいしい酒肴は白飯にも合う。

栗原 心平：著

タクジョ!

小野寺 史宜：著

東京都江東区に暮らし、区内の営業所に配属された新卒のタクシードライバー・高間夏子（23歳）。女性比率は3パーセントに満たないという男社会で、個性あふれる先輩や同期たち、そして家族に励まされながら、仕事に、恋に!？、全力で走り回る姿を、温かく爽快な筆致で描きだす。傑作お仕事小説!



町民記者通信

高清水地区の「ひな流し」

文・写真 菅家敏一さん(高清水)

新型コロナウイルスが猛威をふるっている中、3密回避を遵守しながら「無病息災」を願う高清水地区の恒例行事「ひな流し」が3月4日に行われました。各家庭で渾身を込めて作られた「おひな様」が集められ、只見川に流されました。今年は家族の無病息災の祈願と新型コロナウイルスの一日も早い終息を願い製作され、地区の皆さんが流れていくひな人形に祈りを込めている姿が印象的でした。今年は豪雪により除雪等に苦労しましたが、この日は温かく、春がすぐそこまで来ているのを感じました。



春彼岸先祖供養・合同法要行われる

文・写真 小島 純さん(宮下)



宮昌寺護持会(栗城隆彦会長)では、雪解けが進む3月15日、春彼岸先祖供養合同法要が宮昌寺において、厳かに執り行われました。寺社総代や地区住民の方々約30名が参席し、西方地区 西隆寺の遠藤弘佳住職の読経に始まり、先祖供養が終了後には合同法要が行われました。例年実施している、涅槃会(団子まき)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。新型コロナウイルスの終息を願い、春の彼岸先祖供養は散会となりました。

美女峠&大辺峠かんじきウォーク行なわれる

文・写真 菅家壽一さん(間方)



間方地区から昭和村に通じる峠が2つあります。2月27日に『歴史の美女峠(歩く県道)』と3月6日に『伝説の大辺峠(林道)』のかんじきとネイチャースキーを履いてのウォーキングが行われました。

美女峠へは7名が参加し、雪がちらついていましたが、まずまずの天候に恵まれ、冬芽を観たり、動物の足跡を観たり、リスが数匹目の前を横切ったり、ブナ・ナラ・イタヤカエデ等の雑木林の中を牧場跡までお喋りしながら歩きました。帰りには斜面でシート滑りをして楽しみました。



大辺峠越えは5名が参加し、今の季節にしては気温が高かったため、最悪の重い雪に苦戦するとともに一部雪崩に注意しながら、昭和までの16kmの道程を歩きました。天気が良ければ、飯豊山・飯森山・吾妻山・御神楽岳・浅草岳・会津駒等の山々が綺麗に見えますが、今回は残念でした。帰りは温泉に浸かり疲れた身体を癒して帰りました。

雪が落ち着く2月中旬からは、かんじき&ネイチャースキーに最適です。皆さん、歩く県道と林道を活用した冬のウォーキングにも是非おいでください。

凶作防止 除雪断行

『雪除けの歌』

一、自分の事は皆んなして 人に頼らず任せずに さあさ今年も凶作に してはすまない皆んなして 揃って雪消しやりませう 揃って雪除けやりませう

二、お米穫るには雪国じゃ 雪除け苗代、早播きで 季節に遅れず 苗作り 冷い水の處では 温床苗代強い苗 田植の時期を遅らすな

昭和十一年三月 福島県農会 各郡市農会

昭和十一年（一九三六）、宮下村外二ヶ村組合村（後の宮下村）の住民にして「稀有ノ積雪」と表現するほどの降雪があり、官民共にその対応に追われたようです。

同年の組合村役場日誌から降雪関連の記事を確認すると、一月十六日に小学校で行われた選挙粛正委員会に「連日ノ大降雪」のため、原谷村・三谷村の委員が欠席、二十日には役場庁舎が積雪甚だしく危険箇所があるとし、役場吏員総動員で雪下ろしを実施しています（二月三日時点で「庁舎第四回目雪下シ」との記述あり）。二十一日には浅岐で炭焼きを行っていた本名村の二名が積雪（雪崩）により埋没したため、消防手による掘出作業が行われ、二月二十二日には雪害の実地調査のため、県山林課から六名が来村、三月十六日には柳津村麻生で雪崩があり、人家が埋まったため、西川消防組の幹部が掘出作業のため出張したと記述されています。

この豪雪に関連した資料もいくつか遺されており「小学校舎除雪人夫出勤調査之件」では校舎を守るため、除雪を行った人夫に宮下尋常高等小学校長が役場や各区長に御礼を述べるとともに、「本年ハ意外ノ降雪ニテ校

舎除雪人夫モ意外ニ費シ候」と、参考までに除雪に出動した西川村各地別の延べ回数・人数を公表しており、四地区合計で延べ二十回、延べ百三十六人が除雪に出動し、他に小学校六年生や青年学校生による除雪も行われています。他年の表がないため比較はできませんが、文脈から例年より多かったことがうかがえます。今回冒頭に載せた『雪除けの歌』は福島県農会・各郡市農会が昭和十一年三月に配布したものです。凶作にならないように人に任せず雪消しをしよう、田植の時期を遅らせないようにしよう、呼びかけたものです。『雪割作業実施方法』は「稀有ノ積雪」のため、苗代作りが著しく遅くなることを懸念し、県から示された方法で雪割を行う旨を西川村外二ヶ村組合長代理助役の志田庸氏と、組合村農会長の渡部禎二氏が四月十日に連名で通知したもので、同日より「全農家ハ勿論男女青年団員、消防組員、小学校児童其他ノ団体ヲ総動員」と書かれており、多くの残雪が、四月になってもあったことがうかがえます。その一週間後の十七日に出されたのが、「雪割後苗代措置ニ関スル件」です。前述の志田氏が各部落の努力により雪割が相当の効果を収めたことに感謝を示すとともに、雪割後の苗代手入方法に関して福島県農事試験場会津分場長に出張願うので、米作りを行う者は出席し聴講するよう通知しています。役場日誌を読めば、以降も、四月二十四日に県庁蚕糸課の吏員が桑園の、五月一日には山林課の吏員が山林の、二日には耕地課の吏員が耕地の雪害調査のため来村、六月十八日には衆議院議員の林平馬氏も雪害調査のため村を訪れています。

三島町史編さん室

ご家庭に古い文書や古い写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。 ☎(52)2165

環境研だより 第33回

福島支部は福島地域協働研究拠点に変わります!



三島町のみなさま、こんにちは。新たな年度に変わり、また1年間、広報みしまのスペースをお借りして、我々の研究内容や三島町との関わりについてご紹介させていただきます。さて今回は新年度ということで、改めて国立環境研究所の紹介をさせていただきます。

国立環境研究所は1974年に公害を研究する機関として茨城県つくば市にて発足しました。近年話題になっている気候変動のことから、生態系や廃棄物など環境に関する幅広い調査や研究を行っています。名前が長いので、国環研（こっかんけん）や環境研（かんきょうけん）、NIES（ニース）など多くの略称がありますが、ここでは環境研だよりとさせていただきます。

環境研はつくば市に本部がありますが、東日本大震災などから環境を回復するための研究を行うため、現地拠点として2016年に福島支部が三春町に設置されました。私たち福島支部はご縁あって2016年より三島町、奥会津地域の研究に携わることになり、2017年からは三島町と連携協定を結び、森林資源の利活用に向けた研究を中心に研究支援を行っています。

これまでの連携研究では、町営住宅にHEMS（Home Energy Management System）を設置し、雪国である奥会津の住宅でのエネルギー消費に関する調査や、町内の温浴施設を対象として、季節や時間ごとのエネルギーの需要等を推計し、木質バイオマスエネルギーシステムの導入可能性の検討などを行ってきました。昨年度には浅岐地区においてドローンを使った森林調査や町が取り組んでいる地域循環共生圏推進協議会の支援を行っております。

環境研には5年ごとに策定する中期計画というものがありまして、2021年度から新たな第5期中期計画がスタートします。それに伴って「福島支部」から「福島地域協働研究拠点」へと名称が変わることになりました。

この「地域協働」という言葉にはあまり馴染みがない方もいらっしゃるかと思います。「地域」には行政だけでなく、その地域に関係しているさまざまな

方々（住民の皆さまや自治会やNPO、事業者などなど）を含んでいて、「協働」とは「同じ目的のために、協力して共に働くこと」という意味になります。つまり「地域協働」という名称には、その地域に関わる多くの皆さまと一緒に、それぞれの強みを活かしながら望ましい地域の将来に向かって連携・協力していきたいという思いが込められています。



3月19日に開催した三島町オンライン出前講座の様子

今年3月19日には、4回目となる三島町出前講座を初の試みとなるオンライン形式で開催しました。テーマを「2050年脱炭素と三島町の取組」としまして、地域の方々や外部の参加者も含めて活発な意見交換をさせていただきました。こちらの内容は改めてご紹介させていただく予定です。今年度も地域の方々への提供・発信の場として、このコーナーをより一層充実させていきたいと考えておりますので、今年度も環境研だよりをよろしくお願ひ申し上げます。

< 筆者紹介 > 常盤 達彦（ときわ たつひこ）

暖かくなって来て花粉症が気になる季節になりました。去年はマスクやティッシュが品切れ、なんてことがありましたが、今はマスクの種類も豊富になっているので安心して過ごせそうです。



国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室 ☎0247 (61) 6572

町の人事

◎ 4月1日付異動

【課長相当職】▶参事・総務課長【会計管理者・選挙管理委員会書記長 兼務】

鈴木 庄 蔵 (旧：参事・地域政策課長)

▶参事・地域政策課長

森 田 勝 (旧：参事・町民課長)

▶町民課長

板 橋 淳 也 (旧：生涯学習課長)

▶生涯学習課長

菅 家 直 人 (旧：産業建設課 産業係長)

【係長相当職】▶主幹・町民課 地域包括支援センター長

阿 部 ふ く (旧：総務課付け)

▶主任主査・出納係長

星 保 弘 (旧：主任主査・町民課 保健福祉係長)

▶主任主査・産業建設課 産業係長

五十嵐 義 幸 (旧：主任主査・産業建設課 建設係長)

▶主任主査・町民課 保健福祉係長

二 瓶 大 樹 (旧：主任主査・町民課 町民係長)

▶産業建設課 建設係長

大 竹 重 一 郎 (旧：地域政策課 地域政策係・奥会津振興センター派遣)

▶町民課 町民係長

栗 城 拓 郎 (旧：特命担当課 特命担当係)

【 係 員 】▶総務課 総務係

川 島 昇 (旧：産業建設課 産業係・農業委員会 兼務)

▶農業委員会【産業建設課 産業係 兼務】

山 口 一 也 (旧：福島県保健福祉部 地域医療課)

▶県へ派遣 (会津地方振興局)

三 浦 健 太 郎 (旧：産業建設課 産業係)

▶地域政策課 地域政策係

横 澤 勇 輔 (県より派遣)

▶県へ復帰 (文化スポーツ局)

馬 場 雄 大 (旧：地域政策課 地域政策係)

▶町民課 地域包括支援センター

二 瓶 香 (旧：町民課 保健福祉係)

▶地域政策課 地域政策係・奥会津振興センター派遣

志 田 雅 史 (旧：生涯学習課 生涯学習係)

◎ 4月1日付採用

▶産業建設課 産業係

藤 本 幸 太

▶生涯学習課 生涯学習係

中 丸 拓

▶町民課 保健福祉係

長谷川 未 香 (保健師)

▶町民課 保健福祉係

板 橋 円 (栄養士)

◎ 3月31日付退職

秦 和 幸 (参事・会計管理者) 小 堀 庄 太 郎 (参事・総務課長)



会津坂下警察署からののお知らせ

STOP ネット犯罪！

子どもによる犯罪が発生しています！

○ネットに個人を中傷する書き込みをする行為

～刑法：名誉毀損

○SNS サイト等を模したフィッシングサイトをインターネット上に公開し、サイトを見た者のID やパスワードを不正に取得 ～不正アクセス禁止法違反

○フリーマーケットアプリに出品されていたコンピューターウイルスの入手マニュアルを購入し、ウイルスをいたずら目的で取得 ～不正指令電磁的記録取得

**犯罪を防止するためにも
フィルタリングを必ず利用しましょう。**
被害にあったり犯罪を犯した子どもの多くは、フィルタリングを利用していませんでした。
フィルタリングを利用するとともに、日頃からインターネットの危険性を教えたり、使用時間やアプリの利用制限など家庭でのルールを作ることが大切です。

☎会津坂下警察署 生活安全係 ☎0242 (83) 3451

街頭犯罪発生件数 (2月28日現在)

区 分	管 内	三島町
強 盗	0	0
空 き 巣	0	0
忍 び 込 み	0	0
事務所荒らし	0	0
出 店 荒 ら し	0	0
自 動 車 盗	0	0
オ ー ト バ イ 盗	0	0
自 転 車 盗	0	0
自 販 機 ね ら い	0	0
車 上 ね ら い	0	0
ひ っ た く り	0	0
街頭犯罪合計	0	0
そ の 他 刑 法 犯 等	6	1
全 刑 法 犯	6	1

管内では、工事現場の事務所に侵入され建設機械が盗まれる窃盗事件が発生しています。昨年は、県内で空き巣が増加しました。外出する際はしっかり戸締まりをしましょう。

○その他刑法犯等には、暴行・傷害・万引き・詐欺・器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。※上記発生件数は、令和3年1月1日からの累計数となっています。



消防署からののお知らせ

山火事に注意しましょう！

令和3年 全国山火事予防統一標語

「あなたです 森を火事から 守るのは」

◆山火事や事故を防ぐために、

次のことに注意しましょう。

・たばこのポイ捨てはせず、決められた場所で喫煙する！

・火気を使用する場合は、消火用の水等を必ず用意！

・強風時や乾燥時には、たき火・火入れをしない！

今の時期は、空気の乾燥や季節風あるいはフェーン現象などの気象条件等から、山火事発生の危険性が高い時期となります。山火事は一旦発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失するとともに、その回復には長い年月と多くの労力を要することとなります。これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、特に、空気が乾いている日や風が強い日にはたき火や野焼きをしないなど、火の取扱いには十分な注意が必要です。

三島出張所が無火災表彰

三島出張所が令和2年3月15日からの1年間、管轄区域内において無火災を記録したことから、会津若松地方広域市町村圏整備組合より表彰を受けました。今後も無火災が継続するよう、火災予防の啓発活動等を行います。



矢澤町長と小島消防団長に受賞の報告を行った木村出張所長 (左から2人目)

☎会津坂下消防署 三島出張所
—火事・救急・救助は— 電話 (52) 3032
119番まで FAX (52) 3033

県立宮下病院からのお知らせ

「T字杖のお手入れと買い替えるタイミング」

主任医療技師 柳田 敦彦

歩行補助具としての「杖」は形状・素材・デザインにおいて様々なタイプがあり、使い方に合った「杖」を選ぶことは転倒予防に非常に重要なことです。長年使用した杖では地面と接するゴム素材の劣化や摩耗により滑り止め機能が低下し、転倒リスクが高まります。この機会に是非、ご愛用の杖のゴムの状態と本体の変形・キズが無いかご確認ください。ゴム部分は交換できますので介護用品取扱店や取扱をしている薬局等にご相談ください。

また、強度のあるスチールやアルミニウム素材の杖でも、変形やキズがあるときは買い替えをご検討ください。

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施します。

試験名	申込受付期間	第1次試験日
総合職 (院卒者・大卒程度)	【インターネット】3月26日(金) 9:00 ～4月5日(月) (受信有効)	4月25日(日)
一般職 (大卒程度)	【インターネット】4月2日(金) 9:00 ～4月14日(水) (受信有効)	6月13日(日)
一般職 (高卒者)	【インターネット】6月21日(月) 9:00 ～6月30日(水) (受信有効)	9月5日(日)

なお、申込方法や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページ又は下記にお問い合わせください。

人事院東北事務局 第二課 試験係 ☎022 (221) 2022
人事院ホームページ [https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html]

令和2年分確定申告の納期限と振替日のお知らせ

令和2年分の確定申告期限と納期限は

- 申告所得税及び復興特別所得税・贈与税 4月15日(木)
- 消費税及び地方消費税 4月15日(木) となります。

なお、納税には、便利で確実な振替納税をご利用ください。一度手続きをしていたたければ、継続して利用できます。

令和2年分の確定申告分の振替日は

- 申告所得税及び復興特別所得税・贈与税 5月31日(月)
- 消費税及び地方消費税 5月24日(月) となります。

振替納税は、預貯金残高を確認しておくだけで金融機関の預貯金口座から自動的に納税ができる大変便利な制度です。簡単な手続きで利用できますので、税務署(管理運営担当)にご相談ください。

なお、既に申告所得税及び復興特別所得税又は消費税及び地方消費税について振替納税をご利用の方は、確実に振替納付ができるよう、事前に預貯金残高をご確認ください。

会津若松税務署 ☎0242 (27) 4311

行政相談員に小松けい子さんを再任

行政相談員は行政相談委員法に基づき総務大臣から委嘱され、町民の皆様の身近な相談相手として、行政に関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなどの相談を受け付け、その解決のための助言や行政機関に対する通知などを行っています。

町では、令和3年4月1日付で、小松けい子さんが再任されました。任期は令和5年3月31日までの2年間です。



小松けい子さん (西方)

総務課 総務係 ☎(48) 5511

4月の納税 【納期限 4月30日(金)】

▼固定資産税 (第1期)

▼軽自動車税 (第1期)

忘れずにお納めください

町民課 町民係 ☎(48) 5555

ご寄付ありがとうございました

3月3日、福島ミドリ安全(株)が不織布マスク40,000枚を町に寄付しました。白石昇代表取締役は「新型コロナウイルス感染予防のためにご活用ください」と述べ、矢澤町長にマスクを手渡しました。



社会福祉協議会より サロンのご案内

▼ 桜原はつらつクラブ

4月9日(金) 10時～ 桜原集会所

▼ 大登サロン

4月12日(月) 13時30分～ 大登生活改善センター

▼ 川井集会所

4月14日(水) 10時～ 川井集会所

▼ ひまわりサロン

4月20日(火) 10時～ 町民センター

▼ サロンないり

4月23日(金) 10時～ 名人集会所

▼ 滝谷和楽塾

4月27日(火) 10時～ 滝谷集会所

社会福祉協議会 ☎(52) 3344

町の人口と世帯 3月1日現在

人口	1,517	-3	出生	0
男	756	-1	死亡	2
女	761	-2	転入	0
世帯	737	-2	転出	1

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

※『広報みしま掲載同意書』をご提出いただいた方のみを掲載しています。
特命担当課 ☎(48) 5232

お悔み申し上げます

羽田 喜久代 (94歳・西方)
小柴 康佑 (88歳・西方)
前田 タケ子 (91歳・宮下)
小松 寅一郎 (92歳・西方)

ご寄付ありがとうございました

町へのご寄付
町社会福祉協議会へのご寄付
ご遺志によるもの

前田 貞王様 (宮下)
羽田 芳治様 (西方)
小柴 洋様 (西方)
小松 貞王様 (宮下)

台湾からのプレゼントが三島中の生徒に届く

東日本大震災からちょうど10年目を迎えた3月11日、台湾の博物館や美術館等の20施設から文房具などが贈られました。

同日、三島中学校で贈呈式が行われ、矢澤町長から生徒を代表し、二瓶教香さんに手渡されました。

この企画は、2019年に県立博物館と台湾の国立台湾文学館との共催により、会津若松市出身の故西川満氏の企画展の開催により生まれたもので、企画展で翻



台湾への感謝の気持ちを伝えるため三島中の生徒の皆さんと記念撮影

訳を務めた通訳者の池田リリイ茜藍さん(ちえんらん)が發起人となり、台北駐日経済文化代表処台湾文化センター(東京都)の協力により、交流を深めた北塩原村や西会津町、柳津町、そして三島町の子どもたち約300名に届けられました。

町では、台湾出身の歌手、故テレサ・テンさんが町を訪れ特別町民となった縁や、国立台湾工芸研究発展センターとのものづくりを通じた交流を行っています。今回の企画でも国立台湾工芸研究発展センターにご賛同いただき、台湾原住民の小・中学生が漆の皿を手作りし、三島町の子どもたちに特別に贈られました。

遠く台湾から福島を、そして三島町を想い今回の企画にご賛同いただきました団体の皆様へ感謝を申し上げます。

三島町の皆さま、そして子どもたちへ

日本では3.11から10年を迎えることと存じます。台湾でも921大地震から22年の月日が経とうとしています。台湾と日本は同じく世界有数の地震国であり、これまでも大震災によるさまざまな苦難を、共に支え合いながら乗り越えてきました。我々にとって、日本が大切な古き良き友人であることは、改めて言うまでもないでしょう。東日本大震災10年目という節目に、福島県三島町に変わらない祝賀とエールを送るべく、当センター佐藤のもと、台湾原住民の中学校・小学校生が特別に漆皿を手作りしました。友情の印として、三島町の中学生にプレゼントしたいと思っております。3.11を機に、日台両国の絆はさらに深まりました。10年が経った今でも、我々は福島のことを気にかけています。未来を担うすべての子どもたちが健やかに成長し、工芸のひとつの緒に、持続可能な交流が生まれることを願ってやみません。

国立台湾工芸研究発展センター 2021.03

国立台湾工芸研究発展センターから届いたメッセージ

この時期は、別れと出会いが織りなす変化の季節であります。「会津の三泣き」や私ごとですが、上野駅11時55分発の夜行列車に乗り会津若松駅に向かった47年前の自分の姿を思い出します。様々な挫折を味わい「ふるさと・三島」に帰る決断をした心の風景と、車窓の外に映る小さくしなやかな手指の動きの風景が、脳裏に焼き付いて忘れる事はありません。別れに送られた本革のタバコケースは、タバコを止めた15年前にこつそりと捨てました。人生の中で、人格の形成の基本は、家族や地域の影響が大きいと言われていますが、人との出会いや別れも「人格形成」にとって重要な要素と考えています。人は本来はわがままな生き物で、何事も自分のレンズを通して他人を観るといふ習性があります。同じようなレンズの場合は安堵し、違うレンズを感じ取ると乱反射して違いを誇張しますが、しかし、それを受けた他者は会話の中で、当然別なレンズの観点から見て感動したり、違いを感じたりしている場合もあるという事を考える必要があると思います。錯覚や違いを感じる場合もあります。人生を豊かにする場合もあります。

令和3年度からはじまる、「第五次振興計画」策定の経過の中で、幾度となく「地域活性化」という言葉を、私を含めて職員や審議委員の方も多用しています。活性化という言葉が、発言する人によって違いがあるのは当然ですが、地域ビジョンの方向性を考える場合は、活性化の定義を共有する事が必要でないかと感じていました。活性化は政策や活動の目的になります。活性化という言葉が手段になっているような気がしていますので、今後「活性化」という言葉を共有しながら、審議会等の中で多様な議論をしていく事が柔軟な振興計画によりなるのではないかと考えます。

タクトを振りながら集団を統率する「雀の学校」の時代から、個や多様性を尊重しながら全体として調和や課題を共有化できる社会を創るには「メダカの学校」の歌詞の内容の深化が必要であります。そのためには、パフォーマンスでなく、個々の日々の努力の積み重ねが必要であります。行政ももちろんです。

～めだかがつこうのめだかたちだれがせいとか せんせいだれがせいとかせんせい みんなでげんきにあそんでいる～

持続可能な山村の構築のために、令和3年度も、困難な事に挑戦していきます。町民の皆さんのご協力をお願いします。

三島町長 矢澤 源成